年の日本 学ピ演 第

Voice Packet Transceiver



製品説明資料 (revision1.0)

で モバイルクリエイト株式会社

どのタイプのVPTであっても 同じお客様で混在して使うことができます



音声のみ



位置情報や動態ボタン情報を「見るだけ」で あればモバロケもご利用可能です。



動態管理(GPS接続)

- ・10キーヘメッセージ送信機能
- ・10キーでの動態ボタン
- •位置情報管理





ナビを搭載している車両、GPSだけ の車両、音声のみの車両ということを システムは識別しています。



動態管理(ナビ連携)

- ・ナビへメッセージ送信機能
- ナビ画面での動態ボタン
- •位置情報管理
- ・ナビへの行き先指示機能 (ナビ特有の機能で、配車などの業務が効率UP)

ナビ連携のフル機能を活用するには、 モバロケーをお使いいただく必要があります

き先指示

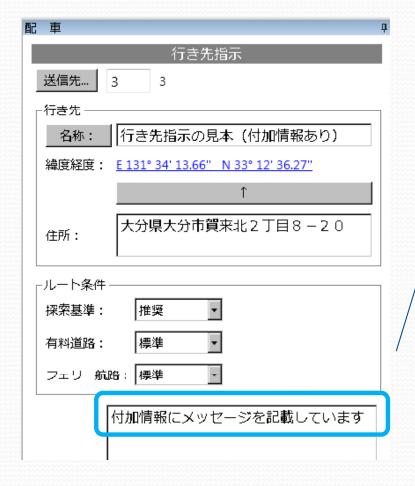
モバロケナからナビ連携の車両に対して、ルートを引くことが出来ます。 行き先指示を受けたナビは、自動的にルートが引かれます。

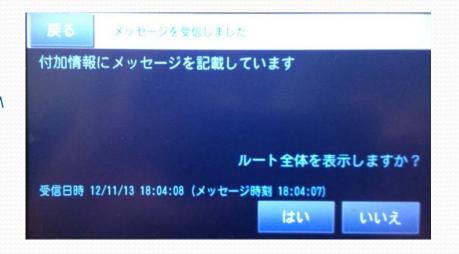


ナビに送信します

行き先指示(付加情報あり)

行き先指示でルートを引く際に、注意事項など 付加情報でメッセージとして送ることが出来ます。





付加情報を確認後、ボタンを押すとルートが引かれます。

130m

ピュー

渋滞

1 から

微調整

N



ナビの画面(ボタン)操作で、状態を送ることが出来ます。 10キーマイクでも同様の操作が可能です。

(例)状態1、状態2、状態3、状態4をボタン配置しています。 ナビで表示できる文字数は12文字ですが、10キーの画面には 6文字までしか表示できません。



モバロケーのマスタ設定も

無線機側の設定と同じ設定にしてください。 (モバロケ+では10文字まで入力可能です。)

ホーム メッセージ 動態履歴 マスタ設定 レバ

追 加 ユーザー 移動局 目印カテゴリ アイコン 定型文 業務ボタン



10キーでも標準VPTのように 動態入力が可能です。



※設定ツールで「初期設定」→ 「動態モード設定」をONにしてください。 OFFの場合は、*(F)ボタンは効きませんが、 ナビでのボタン操作は可能です。



サーバーで受け付けられるとボタン色が 反転するよう設定することも可能です。 業務用ナビ画面編集ツールで設定してください。 5

ボタン数: 4 🕶

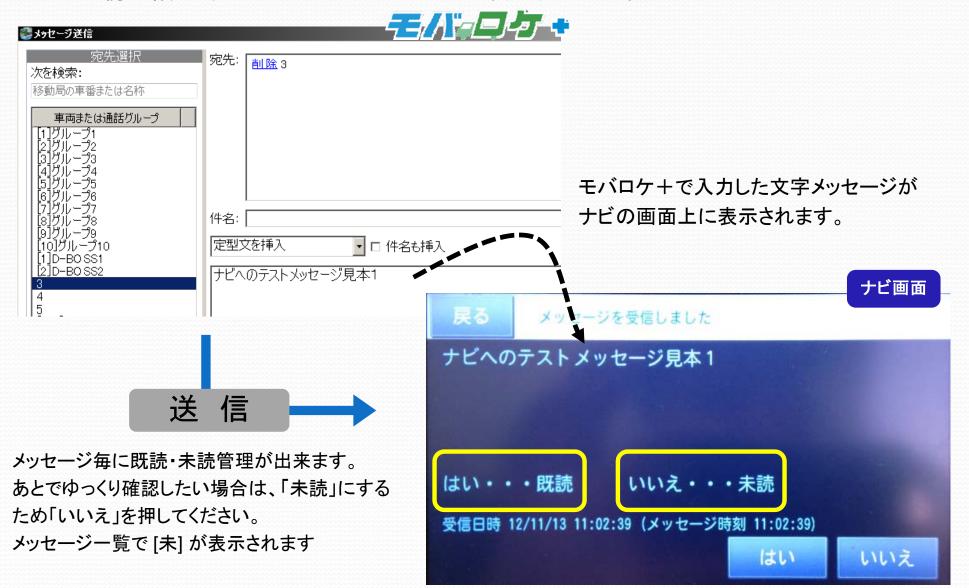
ボタン1: 状態1

ボタン2: 状態2

メッセージ機能

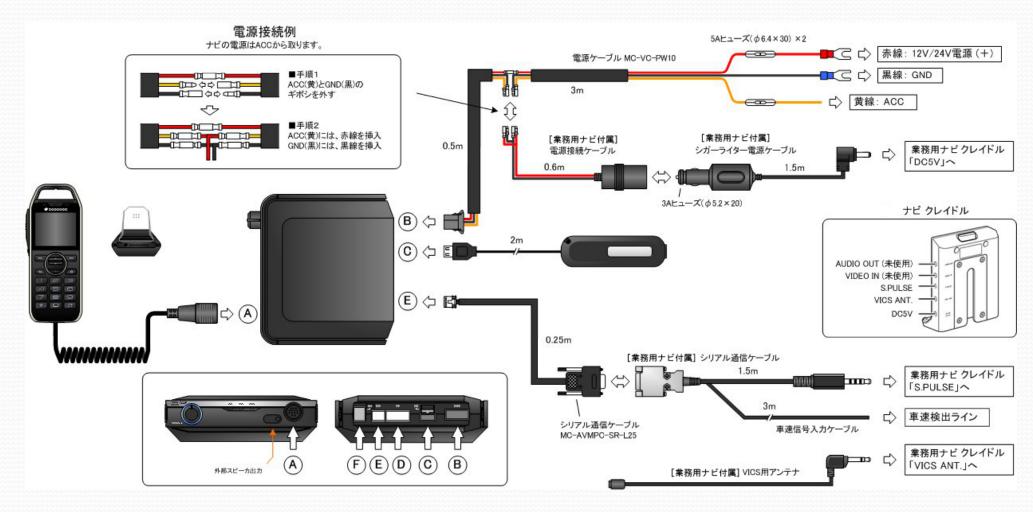


モバロケ+からナビ連携している無線機にメッセージを送ることが出来ます。 (ナビ連携の場合は、10キーマイクにはメッセージは表示されません。)



車両側の機器構成です。

ナビの電源は加工して無線機の標準電源ケーブルに割り込むように接続している例を記載しています。



「D」のコネクタは設定ツールを接続する際に使用します。

ボイスパケットトランシーバ背面

(AVIC-MRP077-B2V) 7.0 inch







ナビと通信する



10キーマイクで標準品と同様の操作性で通話できます。

ナビ付属のシリアル通信ケーブル

ナビ接続ケーブル(標準は25cm)

【型番:MC-AVMPC-SR-L25】

※長さが足りない場合は、150cmの オプションケーブルを別途お買い求めください。

【型番:MC-AVMPC-SR-L150】

ナビ接続ケーブル(本体背面のEX10コネクタへ接続します) 長さは25cmでナビ接続には必ず必要です。ご注文の際に必要数量をご記入ください。

ナビ連携

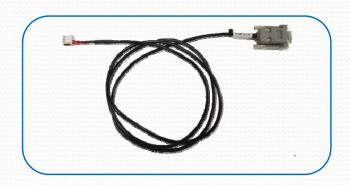




型番: MC-AVMPC-SR-L25



長さが足りない場合は オプション品の接続ケーブルを お買い求めください。(150cm)



型番: MC-AVMPC-SR-L150



ナビ接続異常の確認メッセージ





無線機本体とナビは常に通信しています。ケーブルが外れたことを検知して音声アナウンスが流れます。ナビ接続の設定をONにした状態で、ナビを接続しないと音声アナウンスが流れてしまいます。ナビを接続しない無線機はナビ接続の設定をOFFにしてください。